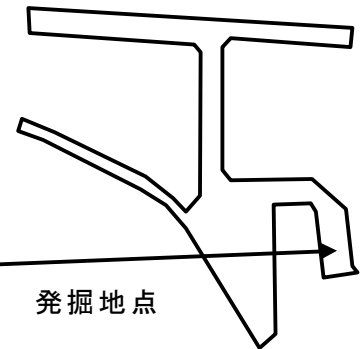
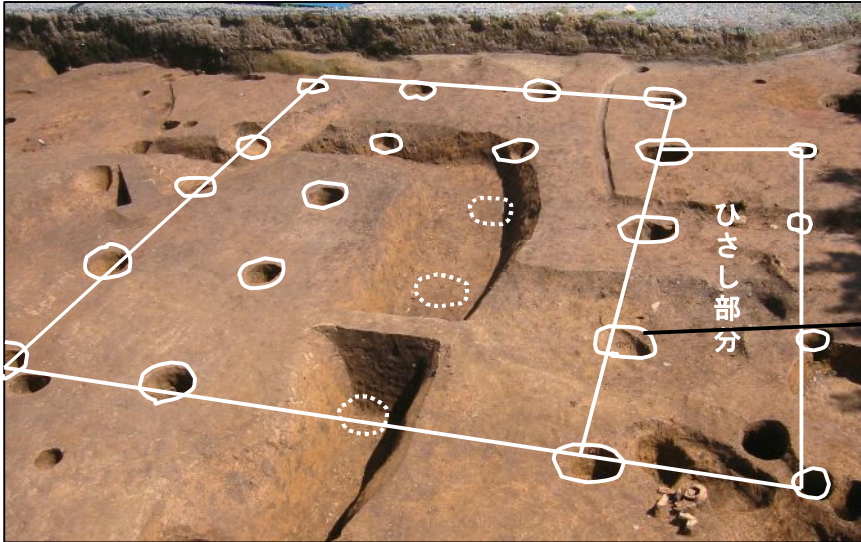


北神宮寺遺跡通信 No. 5

きたじんぐうじいせき つうしん

2007年10月5日

■ 立派な掘立柱建物が見つかりました（戦国時代：約500年前）



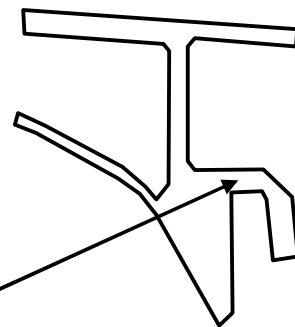
調査区南東部から、南北5列、東西5列、約1.8m間隔に規則正しく立てられた柱穴が見つかりました。これは、戦国時代に立てられた総床張りの屋敷跡だと考えられます。この建物には、南側に幅一間のひさしが付けられていたようです。

<考古学豆知識>

○ 掘立柱建物（ほったてばしらたてもの）

木造建築で柱を礎石に置かず、直接地面に掘った穴の中に立てる方式の建物のこと。戦国時代までの建物に多い。直接地面に柱を立てるので、腐食しやすく耐用年数は20～30年と考えられる。

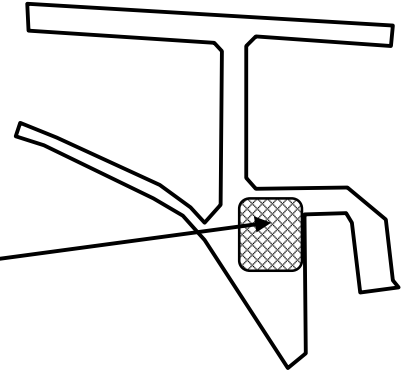
■ 楕円形をした竪穴住居発見！



遺跡通信3号で竪穴住居について紹介しましたが、古墳時代のものは、正方形に近い形が多く、今回の楕円形の住居は、

時代が古く弥生時代後期のものではないかと考えられます。今後、住居内から出土した土器を詳しく調べることで、時代を特定していきます。

■ 竪穴住居が密集していたようです！



調査区域南側の部分から、竪穴住居が重なり合って10棟以上見つかりました。今で言えば、団地の趣きでしょうか。

現地説明会では、その全容がご覧いただけると思います。お楽しみに…。

■ 小学校の見学がありました（気賀小学校：9月25日）



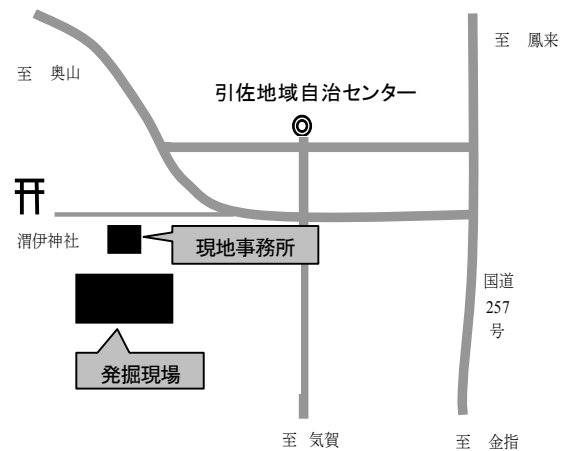
「すごい！壺の形をしているよ。」



「土器は出てくるかなあ？」

- 現地説明会（いなさ文化財まつり）
10月13日(土)14日(日)
午前10時～午後4時
(全体説明：午前10時・午後2時)

- 遺跡の見学について
平日、午前8時45分～午後4時45分の作業時間内でしたら、調査現場を見学いただけます。
お気軽にお越し下さい。



編集発行
現地連絡先

浜松市埋蔵文化財調査事務所
北神宮寺遺跡調査事務所

TEL485-3465
TEL542-3990